

ぼんじゅキャンドルサービスの流れ

役割分担

1	総括責任者（マイクランナー）	職員 A
2	司会者（エールマスター）	学生 1 : ()
3	営火長	学生 2 : ()
4	火の女神・付き人（1～3名）	学生 3 : ()
		学生 4 : ()
		学生 5 : ()
5	ソング・スタンツリーダー	学生 6 : ()
6	音響・CD係	職員 B
7	照明・ファイヤーキーパー係	職員 C

次 第

第 1 部（儀式の火）～約 20 分：おごそかに（静）～

- 1 入場・整列
- 2 はじめの歌 「遠き山に日は落ちて」を歌う
- 3 女神入場 ハミング時に入場し、所定の位置につく
- 4 営火長のことば 聖火を受け取り、火の話をする
- 5 誓いの火 点灯 営火長から各班長に、各班長から班員に点火する
- 6 献 灯 営火長、各班の順に中央の燭台に献灯する。
- 7 夜 の 歌 全員の献灯が終了と同時に「一日の終わり」を歌う

第 2 部（親睦の火）～約 55 分：楽しく元気よく（動）～

- 8 歌、踊り、ゲーム・スタンツなど 3～4 つ程度（ゲーム・スタンツリーダー主導）

第 3 部（儀式の火）～約 15 分：おごそかに（静）～

- 9 おわりの歌 「一日の終わり」を歌う
- 10 児童・生徒の話 児童・生徒の感想発表
- 11 別れの歌 「校歌」「今日の日はさようなら」などを歌う
- 12 女神退場 営火長に親火を与え、ハミング時に退場する
- 13 営火長のことば 火の話をする
- 14 誓いの火 消灯 各班長は燭台から自分のろうそくを持ち帰り、ファイヤーキーパーは燭台の火を静かに消していく
- 15 退 場 営火長、各班の順で退場する

(準備)

※営火長、女神・付き人、参加者の燭台（個人用）・ろうそくを用意する。

※準備物…司会者用ランタン（1）、衣装、ろうそく、燭台（全体用）、ろうそくホルダー（個人用）、シート（小：燭台に敷く）、歌詞（大：1）、歌詞を照らす懐中電灯（1）、マイク（2）、作業台（ろうそくホルダーを置く台として体育館に設置）、水の入ったバケツ（火傷用）

第1部（儀式の火）

1 入場・整列

【司会者】営火長を先頭に、入場してください。

- ・参加者は体育館廊下に集合（燭台・ろうそくを持つ）。
- ・営火長を先頭に体育館を1周（反時計回り）し、所定の位置へ。

（会場図1参照）

KY：暗闇による転倒（照明係は最低限の灯りをつけておく）

2 はじめの歌

【司会者】梵珠の山々に夜のとぼりがおり、今日という日が終わろうとしています。今日一日の出来事を思い出しながら、「遠き山に日は落ちて」を歌います。一番は歌で、二番・三番はハミングで歌いましょう。

- ・CDに合わせて歌う

※音響係：音楽CD、照明係：歌詞を懐中電灯で照らす。

3 女神入場

- ・ハミング時に入場する。

※照明係はすべての照明を消す。

【司会者】皆さん、今、古来より梵珠山に住む「火の女神」が現れました。

- ・入場順は、付き人①→女神→付き人②とする。体育館を1周半（参加者の円内側）して、所定の位置へ（会場図2参照）

※総括責任者：女神の誘導を行う。

【火の女神】私は、梵珠山に住む火の女神です。あなた方の美しい歌が私をここに呼びよせました。美しい歌は美しい心から生まれます。そのような心を持つあなた方をたたえ、梵珠山にきらめく聖なる火を授けます。

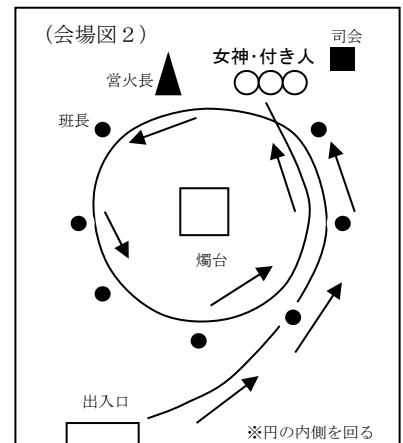
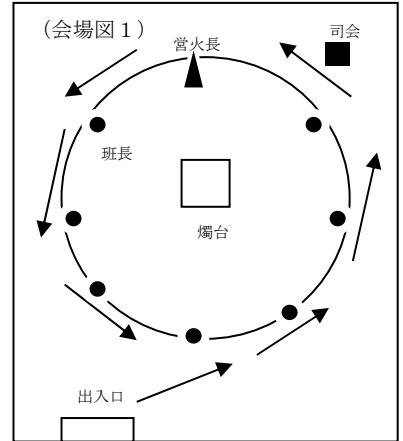
4 営火長のことば

- ・火の女神から聖火を分火してもらう。
- ・「営火長のことば」を述べる

※照明係は営火長の原稿を懐中電灯で照らす。

【司会者】それでは、火の女神から営火長に分火されます。（分火されたら）営火長からのことばをお願いします。

【営火長】私たちの住む地球は長い時間をかけて、無数の命を育んできました。その中の一つとして誕生した人間は、はじめ暗闇と他の動物たちの襲撃におびえながら暮らしていました。しかし、10万年前、人間は火の利用を始め、すべての生き物の頂点に立ち、文明を発展させたのです。今夜はすべての文明の源となった火に思いをはせ、火に感謝しながら、キャンドルサービスを楽しみましょう。



5 誓いの火 点灯

【司会者】それでは、営火長からまずは班長に分火されます。各班長は営火長の前に移動してください。

- ・班長は、その場から営火長の前に移動する。
- ・営火長は、各班長に分火し、その際、営火長は「分火の言葉」をかける。班長および班員は誓いの言葉を述べる。

KY：火傷（分火の仕方は別図参照）

※照明係は、営火長の原稿を懐中電灯で照らす。

【営火長】A班へ：「これは友情の火。いつまでも互いを大切にできるように。」

【班 長】「私たちはいつまでも互いを大切にできるよう、誓います。」

【班 員】「誓います。」

※その他の例「分火の言葉」

「これは努力の火。少しずつ、休むことなく進んでいけるように。」

「これは奉仕の火。誰かに無償の助けを与えられるように。」

「これは協働の火。互いに励まし、協力し合えるように。」

「これは理想の火。きらめく理想をあきらめることのないように。」

「これは意思の火。いつもまっすぐ進むことができるように。」

※他には「団結の火」「感謝の火」「規律の火」「健康の火」「自由の火」「創造の火」「希望の火」など

【司会者】各班長は、班員へ分火してください。

6 献 灯

【司会者】今、聖なる火が皆さんに分火されました。この聖なる火を中央の燭台に献灯していただきます。営火長に引き続き、A班から順に献灯してください。（終わったら）次にB班お願いします…（最後の班までアナウンスする）

- ・営火長が献灯したら、A班の班長→班員の順で中央の燭台に献灯する。
- ・A班が終わったらB班、C班と順番に献灯していく。 ※総括責任者：燭台への誘導をする。

KY：火傷（中央から順に献灯するよう、総括責任者が燭台について誘導する）

7 夜の歌

- ・全員が献灯し、所定の位置に戻ったのを確認する。

【司会者】今、中央の燭台に献灯された火が赤々と燃え、明るい光をはなっています。この誓いの火を見つめながら、「一日の終わり」を皆さんで歌います。一番は歌で、二番はハミングで歌いましょう。

- ・CDに合わせて歌う ※音響係：音楽CD、照明係：歌詞を懐中電灯で照らす。
- ・ハミングの後半になったら、照明係は会場の電気を少しずつONにする。 ※照明係：電気ON

【司会者】（ハミングの終了後）これで、キャンドルサービスの儀式の火を終わります。
この後は、スタンツやゲームなどで盛り上がりましょう。

第2部（親睦の火）

- ・ファイヤーキーパーを中心にろうそくの火を消して燭台を脇に移動する。
- ・営火長、女神・付き人はいったん衣装を脱いで、班に合流する。

8 ゲーム・スタンツ（3～4つ程度：ゲーム・スタンツリーダー主導） ※別紙参照

- ・ゲーム・スタンツリーダーは、ソングゲームなどで大いに盛り上げる。
- ・最後にフォークダンス「マイム・マイム」「ジェンカ」など全員で活動できるものを入れる。

第3部（儀式の火）

- ・ファイヤーキーパーを中心に燭台を中央に戻し、ろうそくに火をつける。

※照明係は、燭台に火が灯ったのを確認してから電気を消す。

- ・営火長、女神・付き人はふたたび衣装を着ける。
- ・営火長、女神・付き人はろうそくに火をつけて持つ

9 おわりの歌

【司会者】楽しいひとときが終わり、今日と一緒に過ごした仲間との別れが近づいています。今日一日をふりかえりながら「一日の終わり」を歌います。二番を歌で、三番はハミングで歌いましょう。

- ・CDに合わせて歌う

※音響係：音楽CD、照明係：歌詞を懐中電灯で照らす。

10 児童・生徒の話

- ・感想発表者は、自分の場所から一歩前に出て発表する。

【司会者】それでは、感想発表をお願いします。A班〇〇さん、C班〇〇さん、E班〇〇さんの順をお願いします。（感想発表→拍手などをうながす）

※総括責任者：感想発表者はあらかじめ決めておく。

※総括責任者（マイクランナー）：感想発表者にマイクを渡す。

11 別れの歌

【司会者】火の女神が梵珠山に帰られます。皆さんで別れの歌「今日の日はさようなら」を歌って見送りたいと思います。一番は歌で、二番から女神退場までハミングで歌いましょう。

- ・CDに合わせて歌う

※音響係：音楽CD、照明係：歌詞を懐中電灯で照らす。

- ・ゆっくりと、女神・付き人はハミングがはじまったら、退場する（会場図3参照）

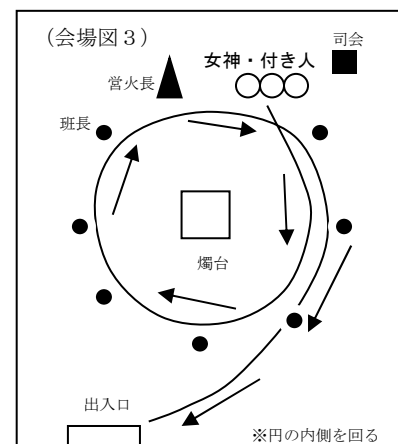
※総括責任者は女神を誘導する。

12 営火長のことば

【司会者】ここで、営火長からのお話があります。

※照明係は営火長の原稿を懐中電灯で照らす。

【営火長】火の女神からいただいたこの火は、やがて消えていこうとしています。しかし、皆さんの心にともされた火が消えることはありません。この火は、友情や思いやりといった生きる上で欠かせない火種が燃え上がらせたものだからです。（明日になれば私たちはお別れとなりますが）心にともった火が、皆さんの道しるべとなることを祈ります。



13 誓いの火 消灯

【司会者】キャンドルサービスも最後の時間を迎えました。火はやがて消えていきますが、今日の誓いの火を忘れることなく、明日へと向かって歩いていきましょう。それでは、A班から、燭台から自分のローソクを取ってきてください。続いて、B班、C班……とお願いします。

- ・各班長のみ、燭台からローソクを取ってくる。

KY：火傷（外側からローソクを取るよう、総括責任者が燭台について誘導する）

※総括責任者：燭台への誘導をする。

14 退 場

【司会者】それでは、営火長を先頭にA班から順に退場します。

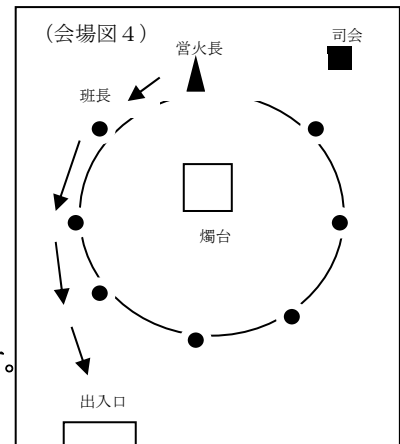
- ・ 営火長を先頭に、A・B・C班…の順に体育館を半周（反時計回り）して廊下へ退場する。（会場図4参照）
- ・ 廊下に出たらホルダーのろうそくを消火し、ホルダーは廊下の作業台におく。

KY：消火（総括責任者は個人ろうそくの消火の確認）

※音響係はBGM（「今日の日はさようなら」など）を流す。

※照明係は、退場が終わり次第、体育館の電気をつける。

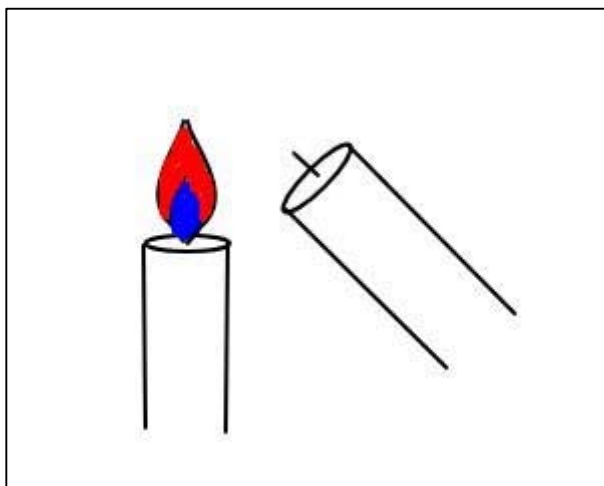
※総括責任者は営火長から順に誘導し、最後、消火の確認。



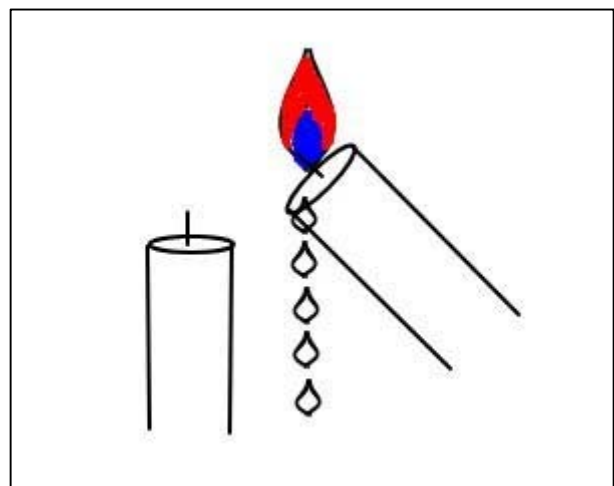
（あとしまつ）

- ・ 会場の清掃・ろうそくの回収・燭台のあとしまつ

（別図：分火の仕方）



○ 正しい



× 間違い（ろうがたれる）